

沖縄と憲法

金井創 (沖縄 Y W C A 会友、日本基督教団佐敷教会牧師)

2017 年 12 月 26 日、沖縄の北部にある大宜味村おおぎみそんに「日本国憲法 第九条の碑」が建立、除幕式が行われました。これで県内 7 カ所目になります。

9 条の碑を行政が作ったもののうち全国初は沖縄で、1985 年那覇市が与儀公園内に設置しました。県内ではほかに石垣島、宮古島、南風原町、西原町、読谷村に 9 条の碑があります。

こちらで暮らしていると 9 条の碑はあちこちでよく見かけるものですから、全国的にそうなのかなと思ったら違いました。

全国では茨城、岐阜、静岡、岡山、広島にそれぞれ 1 カ所、長野、石川には 2 カ所あるそうです。そんなに少ないのかと驚きました。全国 16 カ所のうち沖縄の 7 カ所という数がずば抜けて多いのは何を意味しているのでしょうか。

9 条を含めた日本国憲法が制定されたとき、沖縄は米軍占領下にありました。1952 年のサンフランシスコ講和条約によって日本が独立を回復した後も沖縄だけは除外され、占領状態が続きました。戦後 27 年間、沖縄には憲法が適用されなかったのです。

日本が戦後の平和と高度成長を享受している陰で、沖縄には米軍基地が集中して置かれ、膨大な化学兵器や 1,300 発もの核兵器が貯蔵され 1962 年のキューバ危機の際には沖縄に配備されていた核ミサイルも発射寸前の状態にまでなりました。

キューバ危機は、当時のソ連の核ミサイルが極秘のうちにキューバに配備されたことから、アメリカとソ連の間で核戦争が起こるのが避けられない瀬戸際まで行った出来事です。しかし、沖縄の核ミサイルが狙っていた先は中国でした。アメリカはソ連とともに中国にも核攻撃をしようとしていたのです。

命令ひとつで発射ボタンを押すまでになっていたミサイル基地で勤務していた当時の兵士たちが、何十年も経ってからそのことを証言しています。そして兵士たちはみんな泣いていたとも。核ミサイルを撃てば必ず報復攻撃され、沖縄は破滅することがわかっていたからです。

私が牧師をしている佐敷教会のすぐ近くにあるゴルフ場はかつてキャ

ンプ知念という米中央情報局(CIA)の秘密基地でした。しかもアジア全体の拠点だったのです。

このように9条によって守られる平和とはほど遠い状態に置かれたのが沖縄です。だからこそ大事にしたいという思いが強いのだと思います。こんなことを言った人がいます、「どうも本土の人は9条を要らないようだ。ならばどうぞ捨てて下さい。沖縄が代わりにもらいます。そして一切の軍事基地をなくします」と。

いま沖縄YWCAのユース活動「ルピナス」では憲法カフェを実施して、憲法を身近なものとして受け止める取り組みをしています。特に今年アジアの憲法前文を、日本と比較しながら違いや共通性を学んでいますが、参加者から出てきた声に、自分たちで「わたしたちの憲法前文」を作ってみたいというのがありました。27年間憲法が適用されなかったこの沖縄で、若者たちが平和を造っていくための憲法のかかげた憲法前文を作成する。実現出来たら素晴らしいことだと思いませんか。